

教育課程のアンケート調査（教員用）の結果

◎実施方法 各市立小中学校にアンケート調査用紙と記入用紙を配付して記入し、全対象教員分を学校で取りまとめ教育委員会に提出する。

◎調査時期 平成28年7月13日～8月12日

I-1) 勤務する学校について

小学校教員 212名 中学校教員 113名 合計 325名

I-2) 職名について

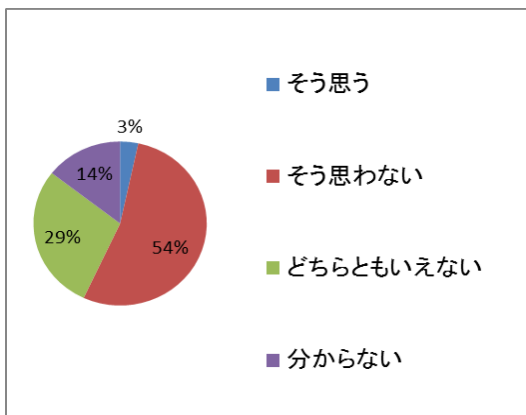
校長 20名 教頭 22名 教諭 283名

I-3) 2学期制での指導経験について

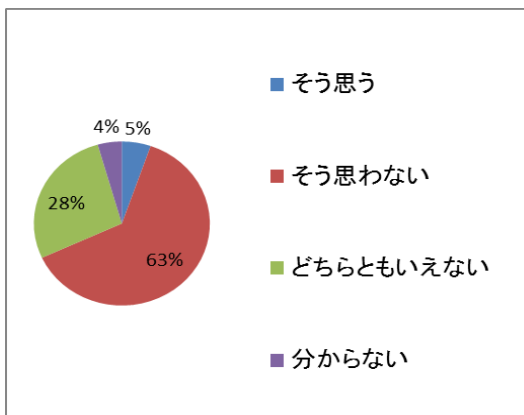
指導経験あり 243名 指導経験なし 82名 教諭 283名

II-4) 2学期制の期待される効果について

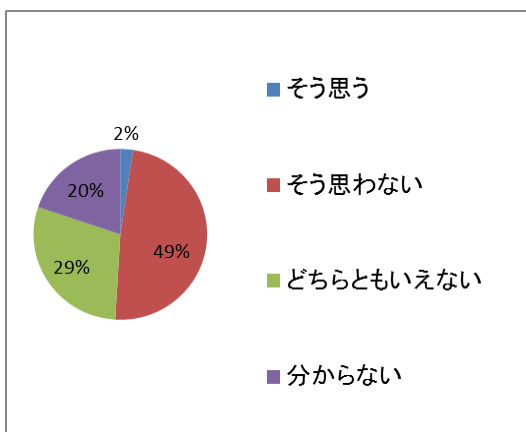
(1) 特色ある学校づくりを行うことにつながっていると思いますか。



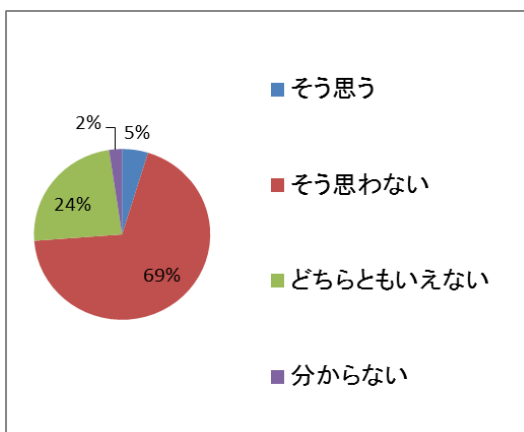
〈教員集計〉



〈中学校教員集計〉



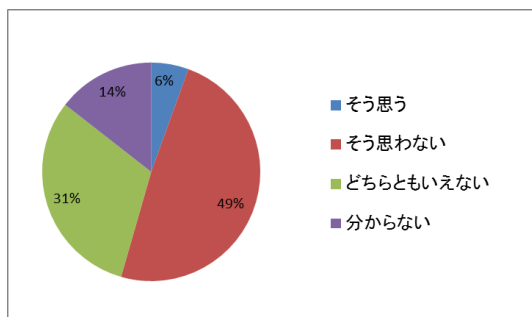
〈小学校教員集計〉



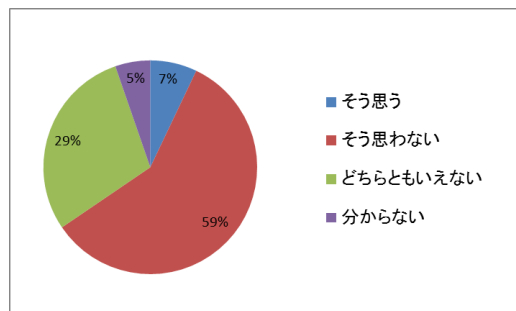
〈管理職教員集計〉

「そう思う」の回答が3%しかなく、「そう思わない」の回答が54%に達している。特に、中学校集計では63%、管理職集計では69%が「そう思わない」と回答している。2学期制により特色ある学校づくりを行うことにつながる効果を感じられていない状況にあると言える。

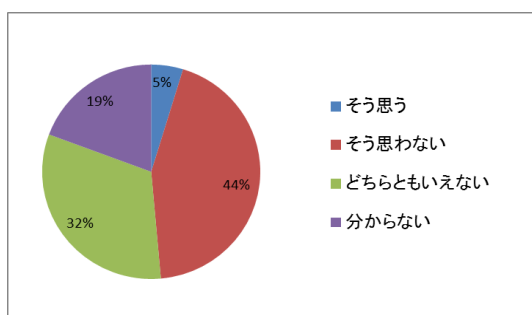
(2) バランスのとれた授業日数と学校行事の配列ができていると思いますか。



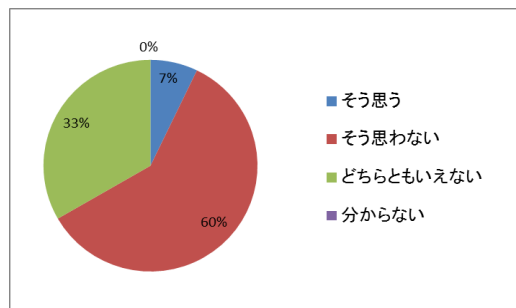
〈教員集計〉



〈中学校教員集計〉



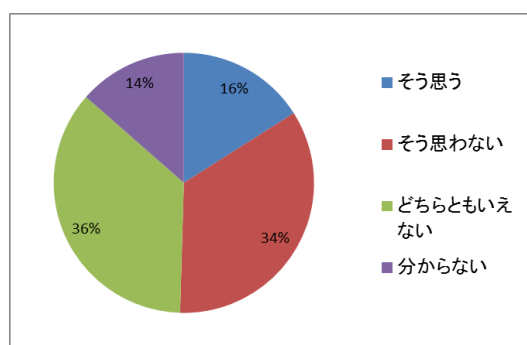
〈小学校教員集計〉



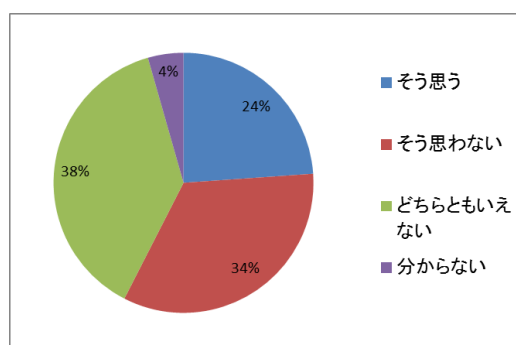
〈管理職教員集計〉

「そう思う」の回答が6%しかなく、「そう思わない」の回答が49%に達している。特に、中学校集計では59%、管理職集計では60%が「そう思わない」と回答している。バランスのとれた授業日数と学校行事の配列ができる効果を感じられていない状況にあると言える。

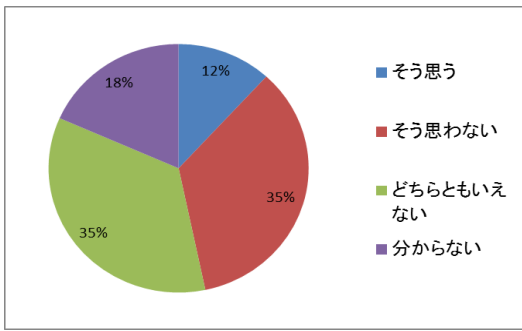
(3) 授業時間の確保と連続性のある学習活動ができていると思いますか。



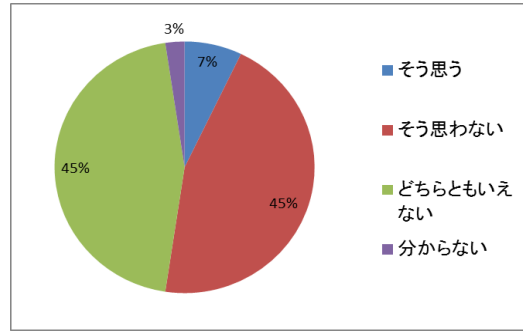
〈教員集計〉



〈中学校教員集計〉



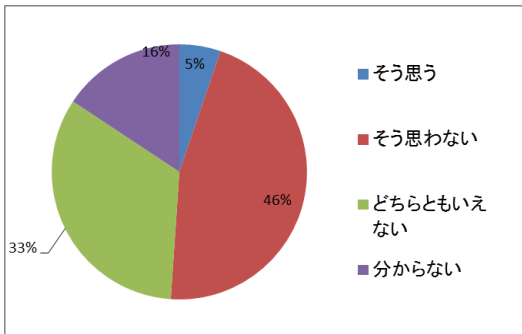
〈小学校教員集計〉



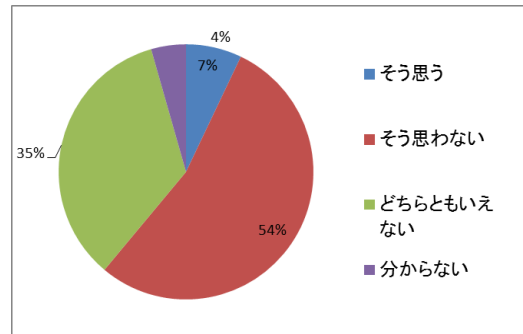
〈管理職教員集計〉

「そう思う」の回答が16%で、「そう思わない」の回答が34%であり、「どちらともいえない」と「わからない」の回答を加えると50%である。校種別に集計しても、明確に「そう思う」と回答した教員は少なく、2学期制により授業時間の確保と連続性のある学習活動ができていると感じられていない状況にあると言える。

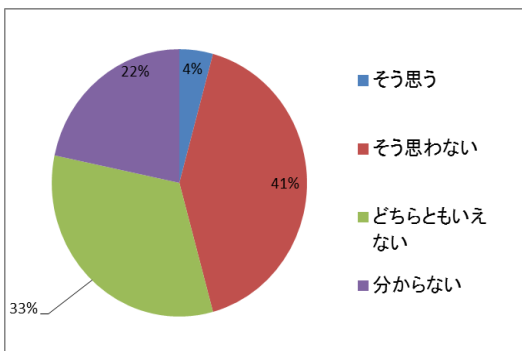
(4) きめ細やかな評価ができていると思いますか。



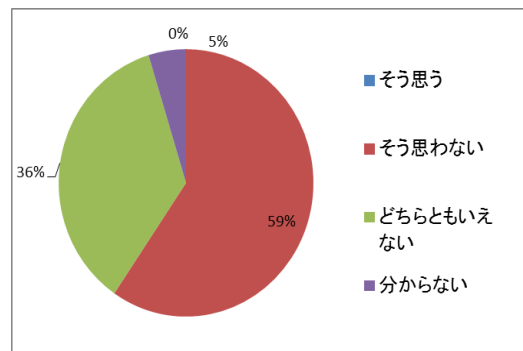
〈教員集計〉



〈中学校教員集計〉



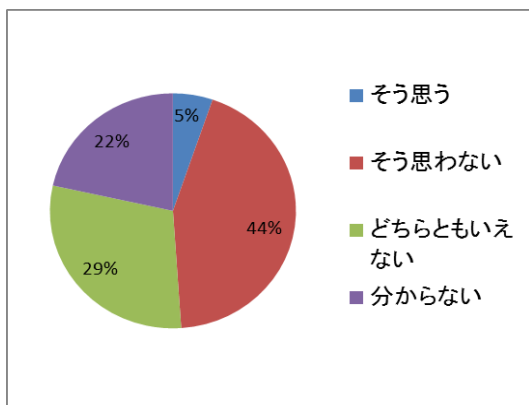
〈小学校教員集計〉



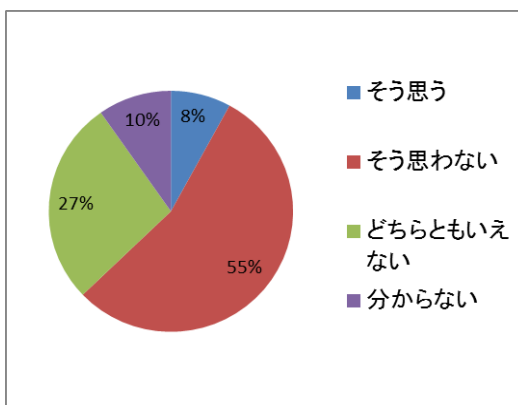
〈管理職教員集計〉

「そう思う」の回答が5%しかなく、「そう思わない」の回答が46%に達している。特に、中学校集計では54%、管理職集計では59%が「そう思わない」と回答している。2学期制によりきめ細やかな評価ができる効果を感じられていない状況にあると言える。

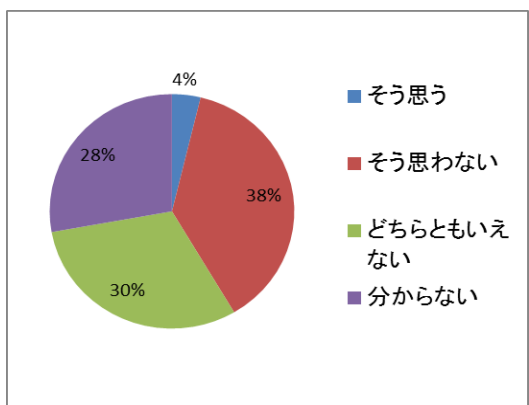
(5) 学校行事の日程幅が拡大することで、子供に向き合う時間が増加したと思いますか。



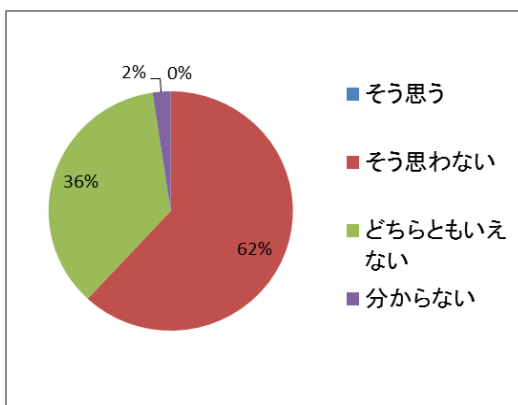
〈教員集計〉



〈中学校教員集計〉



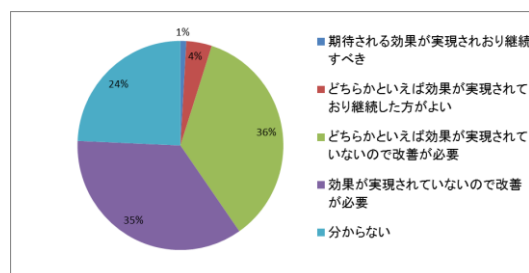
〈小学校教員集計〉



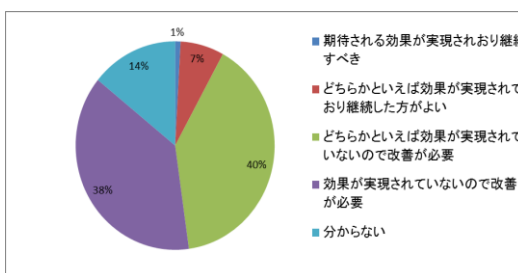
〈管理職教員集計〉

「そう思う」の回答が5%しかなく、「そう思わない」の回答が44%に達している。特に、中学校集計では55%、管理職集計では62%が「そう思わない」と回答している。2学期制により学校行事の日程幅が拡大し、子供に向き合う時間が増加する効果を感じられていない状況にあると言える。

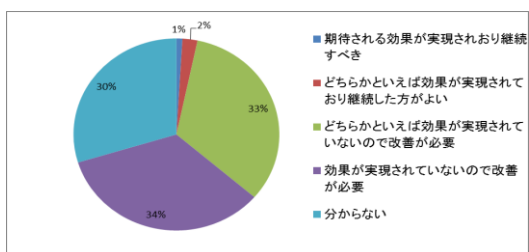
Ⅱ-5) 2学期制を続けることについてどうお考えですか。



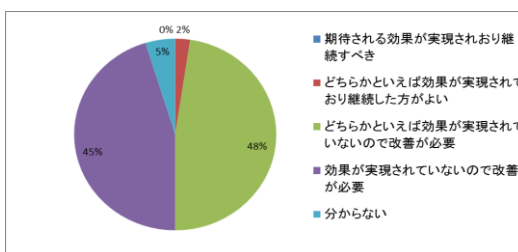
〈教員集計〉



〈中学校教員集計〉



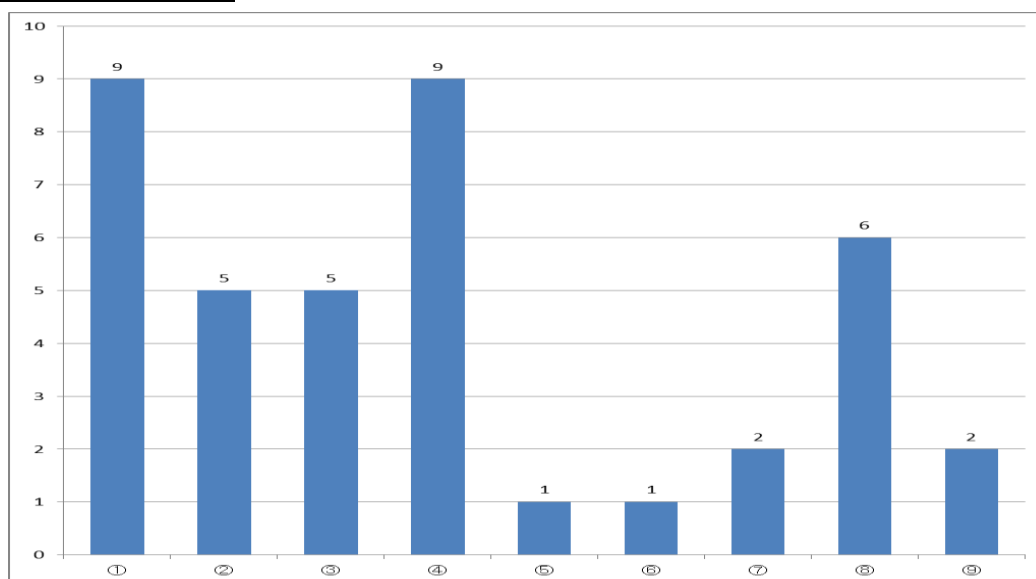
〈小学校教員集計〉



〈管理職教員集計〉

「2学期制の期待される効果が実現されているので、継続すべきである」の回答が、わずか1%しかなく、「どちらかといえば、2学期制の期待される効果が実現されているので、継続した方がよい」の回答の4%を加えても5%にしか達しない。その反面、「2学期制の期待される効果が実現されていないので、改善が必要である」の回答が35%で、「どちらかといえば、2学期制の期待される効果が実現されていないので、改善が必要である」の回答の36%を加えると71%に達し、圧倒的に2学期制を続けることに改善の必要を感じている。特に、中学校集計では78%、管理職集計では93%が2学期制を続けることに改善の必要を感じている。

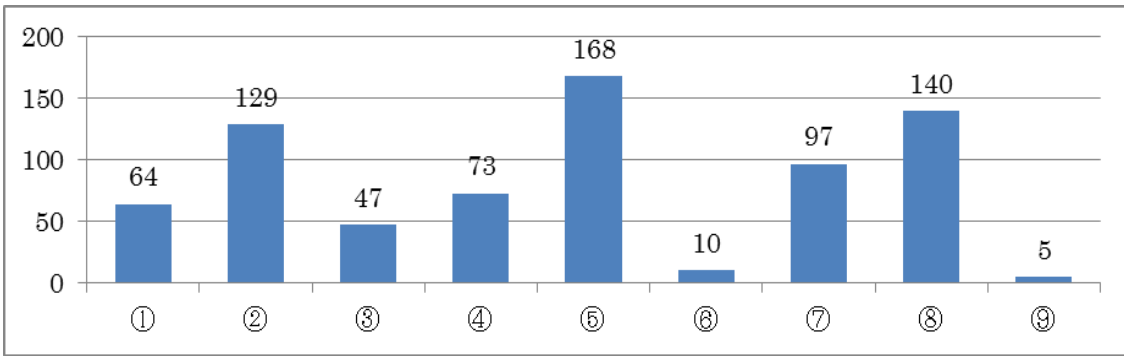
Ⅱ-6) 5の設問で2学期制を継続すべき、又は継続した方がよいと選択した理由は何ですか。 (単位：件)



- ① 継続性のある学習や体験的な学習を行いやすい。
- ② 学期の長期化で評価する資料が多くなり適切な評価に結びつく。
- ③ 始業式等や定期試験の回数が減り、他の教育活動にあてられる。
- ④ 定期試験や通知表作成等の事務処理負担が減り、子供と向き合う時間が増える。
- ⑤ 小テストも随時行うことができ、理解度を把握しやすい。
- ⑥ 中学校で定期試験を長期休業直後に行う等、長期休業中の学習意欲が継続する。
- ⑦ 長期休業日の直前でも研究会や行事等を実施でき、ゆとりをもった計画が立てれる。
- ⑧ 学期が長くなることで、繰り返し学習や復習の時間を確保でき、学力向上につながる。
- ⑨ その他

「継続性のある学習や体験的な学習を行いやすいから」と「定期試験や通知表を作成するなどの事務処理の負担が減り、子供と向き合う時間が増えるから」の選択が共に9件で最も多く、「一つの学期がなることで、繰り返し学習や復習の時間を確保することができ、学力向上につながる」が6件、「学期が長期化することにより評価するための資料が多くなり適切な評価に結びつくから」と「始業式、終業式などの学校行事や定期試験の回数が減り、その分を他の教育活動にあてることができるから」の選択が5件の順になっており、その他の理由の選択は2件以下であり、2学期制を継続するための理由とは感じていないと言える。

Ⅱ－７）５の設問で２学期制の改善が必要、又はどちらかといえば改善が必要と選択した理由は何ですか。 (単位：件)



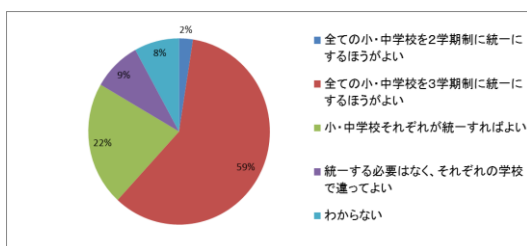
- ① 学期が長くなり、テスト範囲が広くて生徒の負担が大きい。
- ② 長期休業が学期の途中に入り、学習意欲を継続させにくい。
- ③ 長期休業前の評価や他の事務処理が生じ、教員の負担が多くなり子供と向き合う時間が減る。
- ④ 通知表を出す回数が減り、保護者に学校での子供の様子を伝えるににくい。
- ⑤ 2学期制は子供に学期末、休業日前後の区切りを意識させることが難しい。
- ⑥ 入試等の評価資料作成時期が早く、適正に評価できない。
- ⑦ 日本の伝統・風土・生活習慣にマッチしていない。
- ⑧ 夏季休業期間が短縮され、授業時数が3学期制においても確保できる。
- ⑨ その他

「2学期制は子供に学期末、休業日前後の区切りを意識させることが難しいから」、「すでに夏季休業期間が短縮され、2学期制のメリットである授業時数が3学期制においても確保できるから」、「2学期制は長期休業が学期の途中に入るため、学習意欲を継続させにくいから」の選択が100件以上あり、共通した理由と言える。また、「入試などの評価資料の作成時期が早く、適正に評価できないから」と「その他」以外の理由もほぼ50件以上選択されており、2学期制を改善すべき理由と感じていると言える。

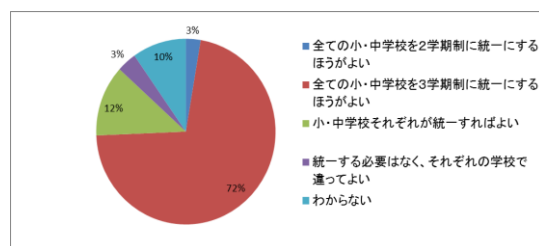
(その他の意見)

- ・ 2学期制の小学校でも、通知表は3学期制に戻している。
- ・ 実質3学期制と変わりなくしている。
- ・ 2学期制にすると通知表を4回作ることで負担が大きい。

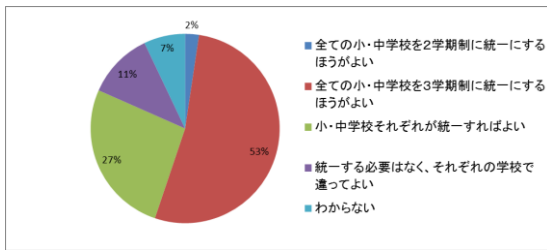
Ⅱ－８）今後、学期制をどのようにすればよいと考えますか。



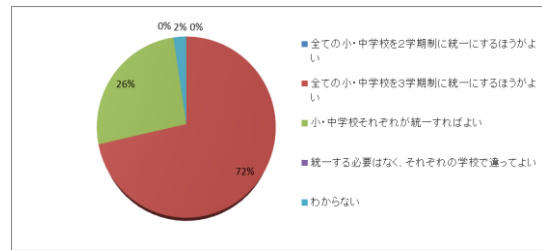
〈教員集計〉



〈中学校教員集計〉



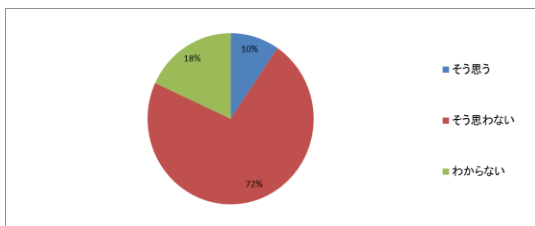
〈小学校教員集計〉



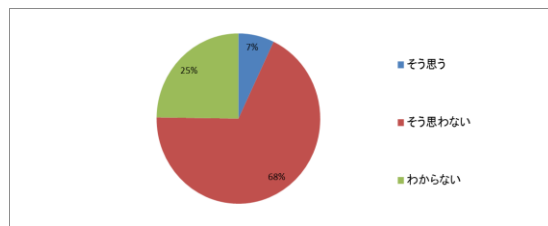
〈管理職教員集計〉

「全ての小・中学校を2学期制に統一にするほうがよい」の回答が2%しかなく、「全ての小・中学校を3学期制に統一にするほうがよい」の回答が59%に達している。特に、2学期制を実施している中学校の集計と管理職集計では72%が「全ての小・中学校を3学期制に統一にするほうがよい」と回答している。また、「小・中学校それぞれが統一すればよい」の回答も22%に達しており、小学校で2学期制と3学期制が混在している現在の状況を改善すべきと感じている状況にあると言える。

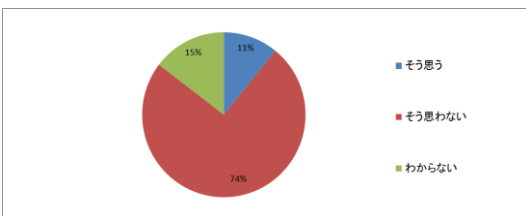
Ⅱ-9) 2学期制から新たに3学期制に変わると、子供たちは不安や戸惑いを感じると思いませんか。



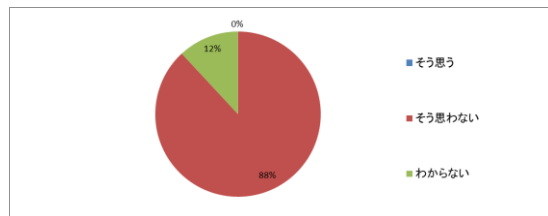
〈教員集計〉



〈中学校教員集計〉



〈小学校教員集計〉



〈管理職教員集計〉

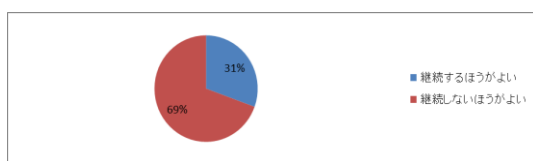
「そう思う」の回答が10%に対し、「そう思わない」の回答が72%に達している。特に、小学校集計で74%、管理職集計では88%が「そう思わない」と回答している。2学期制から3学期制に変わっても子供たちは不安や戸惑いを感じないと思っていると言える。

Ⅲ 学期制全般についての意見

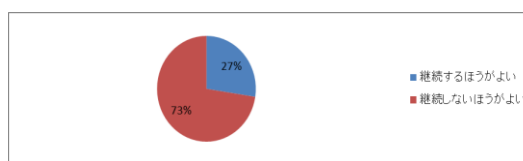
(主な意見)

- ・ 小学校は、市内全て3学期制に早く統一すべきである。
- ・ 長期休業が学期の区切りとして有効なため、3学期制がいいと思われま。
- ・ 生徒も保護者も2学期制に戸惑いがあるように感じる。

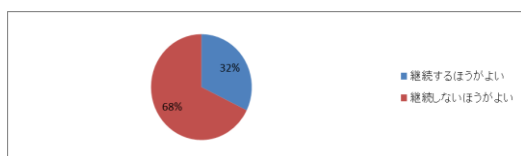
IV-10) 夏季休業期間の短縮（小学校は3日、中学校は7日）を、今後も継続するほうがよいと思いますか。



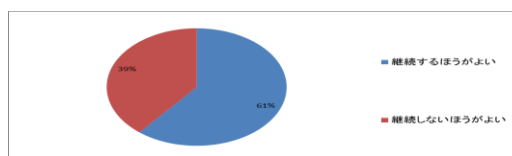
〈教員集計〉



〈中学校教員集計〉



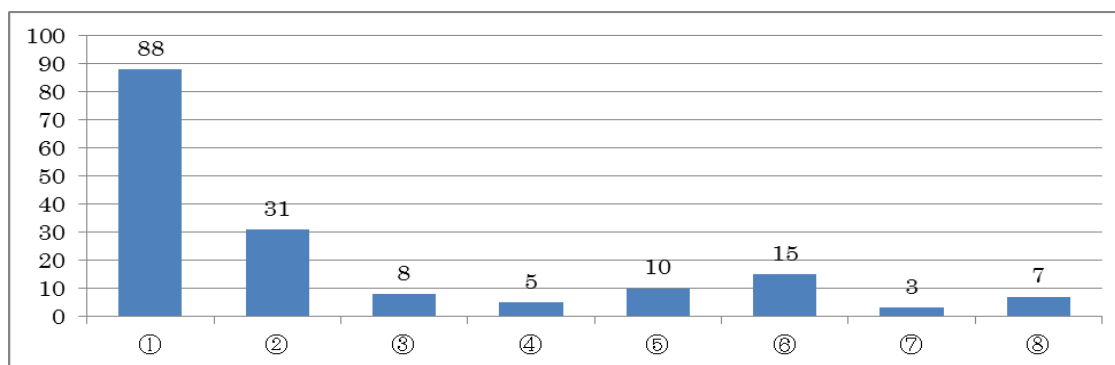
〈小学校教員集計〉



〈管理職教員集計〉

「継続するほうがよい」の回答が31%に対し、「継続しないほうがよい」の回答が69%に達している。小学校集計も中学校集計もほぼ同じ率になっているが、管理職集計では「継続するほうがよい」の回答が61%に対し、「継続しないほうがよい」の回答が39%となり、管理職と教諭では率が逆転した回答になっている。

IV-11) 10 の設問で夏季休業期間の短縮を今後も継続するほうがよいと選択した理由について (単位：件)



- ① 授業時数が確保され、ゆとりをもって取り組める。
- ② 体験的な学習等、特色ある教育活動にゆとりをもって取り組める。
- ③ 研修会等の参加や教材研究の時間に影響ない。
- ④ 授業時数の関係で廃止になった行事等を復活する必要がある。
- ⑤ 個人面談などを実施する時間の確保に影響がない。
- ⑥ 児童生徒が夏季休業中の学習等に取り組むのに影響がない。
- ⑦ 部活動の対外試合等の時間確保に影響がない。
- ⑧ その他

「授業時数が確保され、ゆとりをもって取り組めるから」の選択が、ほぼ半数の88件で最も多く、「学校における体験的な学習等、特色ある教育活動にゆとりをもって取り組めるから」の選択が、ほぼ20%の31件、「児童・生徒が夏季休業中の学習や自由研究、読書などに時間をかけて取り組むのに影響がないから」の選択が15件となっており、この3理由だけで80%以上を占め、夏季休業期間の短縮を今後も継続する主な理由と言える。

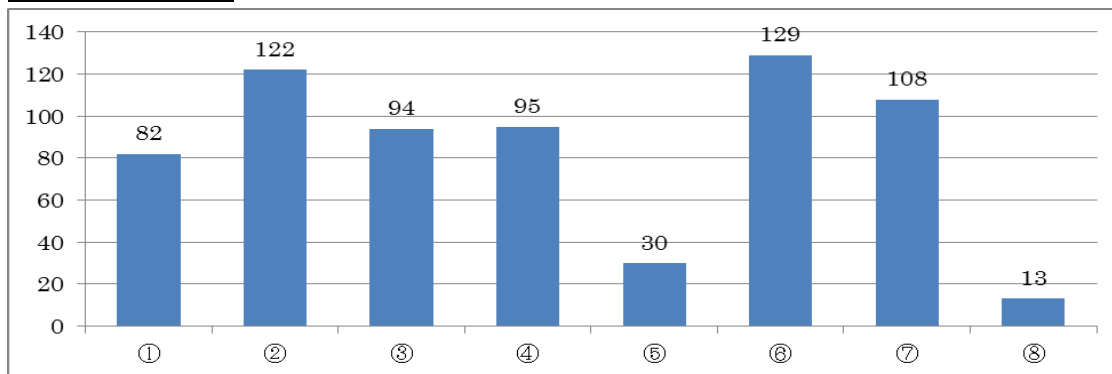
(その他の意見)

- ・ 警報時の臨時休校やインフルエンザによる学級・学校閉鎖があっても授業時

数が確保できる。

- ・今まで短縮していたのをしなくなるなら、保護者の納得のいく理由が必要。
- ・ゆとりをもてるかどうかは疑問ですが、授業時数の確保にはよい。

IV-12) 10 の設問で夏季休業期間の短縮を継続しないほうがよいと選択した理由は何ですか。 (単位：件)



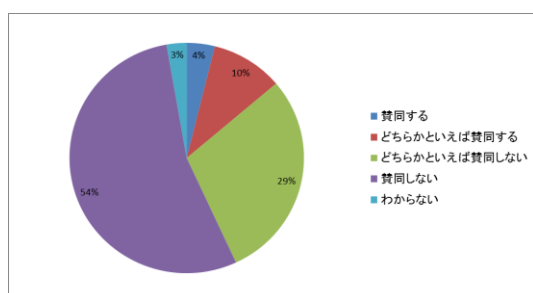
- ① 夏季休業期間の研修会等に参加しやすい。
- ② 補充学習や教材研究をする時間が確保しやすい。
- ③ 短縮しなくても授業時数が十分足りている。
- ④ 子供が夏季休業中の学習や自由研究、読書などに時間をかけてに取り組める。
- ⑤ 部活動の対外試合等の時間が確保される。
- ⑥ 区切りとして8月末までの夏季休業期間は適切である。
- ⑦ 夏季休業前半のスケジュールが過密。
- ⑧ その他

「その他」の理由の選択以外は、ほぼ等しい件数で選択されており、「夏季休業期間の短縮を継続しないほうがよい」と感じている教員は多いが理由は共通していないと言える。

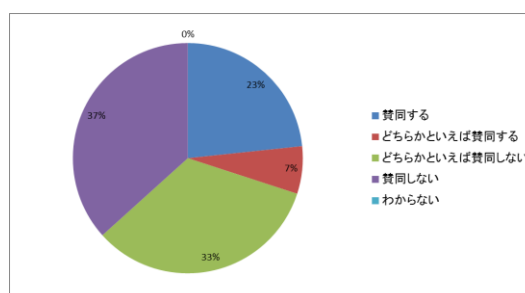
(その他の意見)

- ・子供が親と過ごす時間を奪っているから
- ・児童の登下校が暑くて大変。
- ・長期休業を境に学期があり、評価をしていくことで長期休業中に個々の反省ができ、次の学期の目標を設定することができる。

V-13) 小学校の夏季休業期間を、全ての小学校の普通教室と音楽教室にエアコンが整備される平成30年度から、中学校と同じ7月21日から8月24日までとする案に賛同しますか。(小学校の教員のみ)



〈教員集計〉

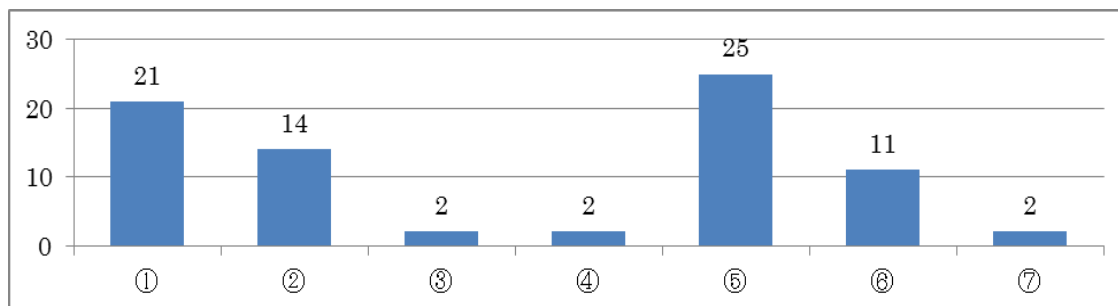


〈管理職教員集計〉

「賛同する」、「どちらかといえば賛同する」の合計回答が全体の14%に対

し、「賛同しない」、「どちらかといえば賛同しない」の合計回答が全体の83%に達している。管理職も教諭も夏季休業期間を中学校と同じとすることには賛同していない意見が強いと言える。

V-14) 13の設問で「賛同する」、「どちらかといえば賛同する」と選択した理由は何ですか。 (単位：件)



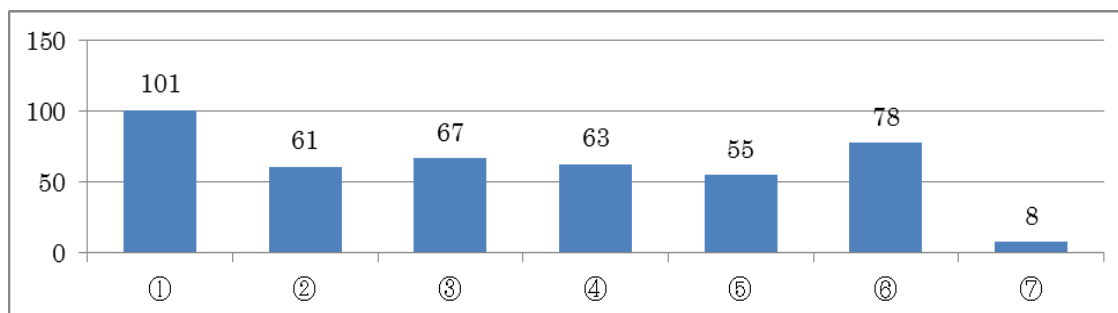
- ① 授業時数が増え学力の向上が期待できる。 ② 警報発令等で授業時数の減少リスクが少なくなる。
 ③ 年間計画がきめ細やかに立てられる。 ④ 廃止された行事等を復活することができる。
 ⑤ 空調設備が整うことで学習環境がよくなる。 ⑥ 規則正しい生活習慣に早く戻せる。 ⑦ その他

短縮の拡大を支持する理由として「授業時数の増加による学力向上」に期待を寄せている。また、「空調設備の整備」により学習環境がよくなることも高い割合であげている。

(その他の意見)

- ・保護者が働き易い日数が増える。
- ・兄弟が小学校と中学校にいた場合、母もしやすい。

V-15) 13の設問で「賛同しない」、「どちらかといえば賛同しない」と選択した理由は何ですか。 (単位：件)



- ① 短縮しなくても授業時数が確保されている。 ② 教材研究する時間確保がしがたくなる。
 ③ 授業時数が増え子供のストレスがたまる。 ④ 学力向上につながると思えない。
 ⑤ 子供が家庭や地域で過ごす時間が減る。 ⑥ 登下校や体育等の授業で熱中症のリスクが高い。 ⑦ その他

短縮の拡大に賛同しない最も多い理由は、「短縮をしなくても授業時数は確保されている」であり、「登下校や体育等の授業での熱中症」を心配する教員も多いと言える。

(その他の意見)

- ・始業していると8月終頃の研究会・研修に出席しにくい。
- ・親子の関わりをもつ大事な時期なので、ふれあいを大切にしてもらいたい。

- ・小学校段階では、長期休暇はしっかりと休み、遊び、体験することが大切だと思います。

★ その他、教育課程に関連した意見

- ・小学校は、授業時数が十分足りている。中学校はテスト期間の短縮があるし、中3は入試があるので時数が少ないから中学校に合わす必要はない。個人懇談会も長期休業中に行っている。
- ・県内は統一する方向が望ましい(公立中)
- ・今回のように学期制という学校運営上非常に大切なことについて、現場・保護者の意見を聞いていただき有難うございます。
- ・小学校では、授業時数は充分確保できているので、夏休みを1週間前倒して、2学期を始める必要はありません。
- ・那賀地方で色々な行事をする場合、統一されているほうが望ましいので、3学期制で揃えて欲しい。

教育課程のアンケート調査（保護者用）の結果

◎実施方法 各市立小中学校にアンケート調査用紙と記入用紙を配付し、PTA役員分を学校で取りまとめ教育委員会に提出する。

◎調査時期 平成28年7月13日～8月12日

I-1) 子供が在籍する学校について

小学校 110名 中学校 47名 両方 38名 合計 195名

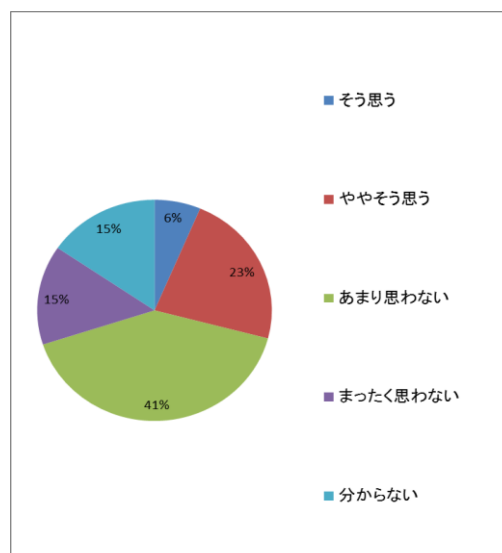
I-2) 子供が在籍する学校で2学期制を導入しているかについて

はい 110名 いいえ 81名 わからない 4名 合計 195名

II 2学期制を導入している学校の保護者への質問

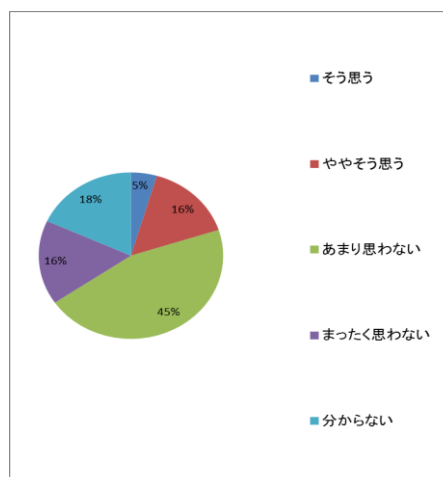
3) 2学期制の導入で学習時間が増え、児童生徒の確かな学びや教師と触れ合う時間の確保に結びついていると思いますか。

「そう思う」、「ややそう思う」の回答を合計しても29%しかなく、「あまり思わない」、「まったく思わない」、「わからない」の回答を合計すると71%に達している。2学期制の導入により児童生徒の確かな学びや教師と触れ合う時間の確保に結びついていると保護者はあまり実感していない状況にあると言える。



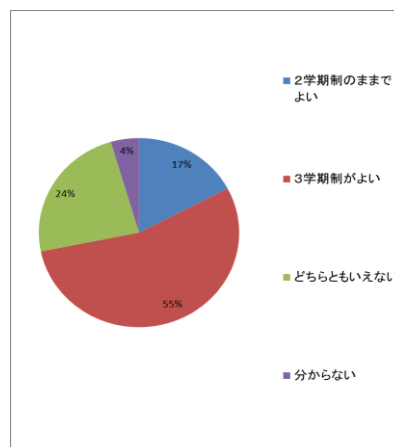
4) 2学期制は学期間が長いため、評価期間も長くなることで、適正な評価につながっていると思いますか。

「そう思う」、「ややそう思う」の回答を合計しても21%しかなく、「あまり思わない」、「まったく思わない」、「わからない」の回答を合計すると79%に達している。2学期制の導入により適正な評価につながっていると保護者はあまり感じていない状況にあると言える。



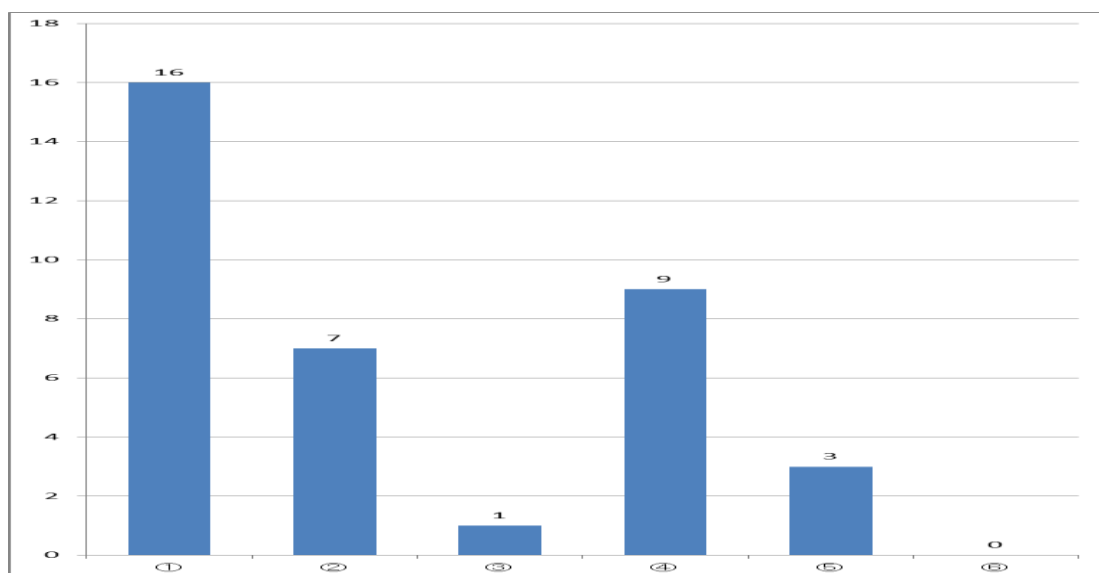
5) 学期の区切り方（2学期・3学期制）について、どのようにすればいいと思いますか。

「2学期制のままでよい」の回答が17%で、「3学期制がよい」の回答が55%であり、2学期制から3学期制への変更を3倍以上の保護者が求めているが、「どちらともいえない」と「わからない」の回答を合計すると28%あり、1/4の保護者は、どちらが良いのか判断できない状況にあると言える。



6) 5の設問で「2学期制のままでよい」と選択した理由を最大3つまで選んでください。

(単位：件)

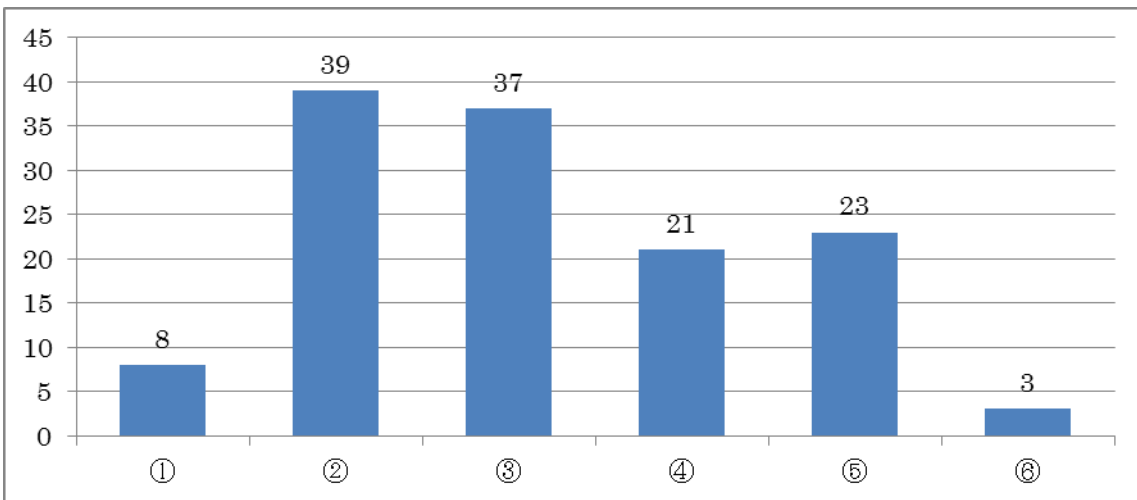


- ① 今の体制で学校生活に特段の問題がない。
- ② 教員が児童生徒と向き合う時間が増える。
- ③ 評価する資料が多くなり適正な評価に結びつく。
- ④ 繰り返し学習や復習の時間が確保され学力向上につながる。
- ⑤ 学校行事や定期考査の回数が減り、他の教育活動に充てられる。
- ⑥ その他

「今の体制で子供の学校生活に特段の問題がないから」の選択が16件で最も多いが、2学期制の効果を感じての意見ではない。次に多いのは「学期が長くなることで、繰り返し学習や復習の時間が確保され学力向上につながる」で9件、「教員が児童生徒と向き合う時間が増えるから」の選択が7件の順になっており、この3つが「2学期制のままでよい」の主な理由と言える。

7) 5の設問で「3学期制がよい」と選択した理由を最大3つまで選んでください。

(単位：件)



- ① 日本の気候や風土、生活習慣にマッチしていない。
- ② テスト範囲が広くなり生徒の負担が大きい。
- ③ 長期休業が学期途中に入り学習意欲を継続させにくい。
- ④ 夏季休業期間も短縮され授業時数が3学期制でも確保できる。
- ⑤ 長期休業前に通知表をもらい、子供の状況を把握したい。
- ⑥ その他

「2学期制は学期が長くなることで、テスト範囲が広くなり生徒の負担が大きいから」の選択が39件、「2学期制は長期休業が学期の途中に入るため、学習意欲を継続させにくいから」の選択が37件、「長期休業前に通知表をもらい、子供の状況を把握したいから」の選択が23件、「すでに夏季休業期間も短縮され、2学期制のメリットである授業時数が3学期制においても確保できるから」の選択が21件で、この4理由で全選択の92%に達しており、「3学期制がよい」主な理由と感じていると言える。

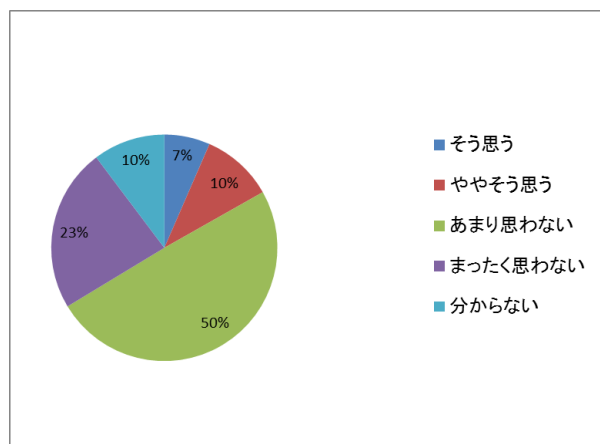
(その他の意見)

- ・テスト数が減り、1回のテストに対する範囲だけが広がっている。

8) 2学期制から新たに3学期制に変わると、子供たちは不安や戸惑いを感じると思いませんか。

「そう思う」、「ややそう思う」の回答を合計しても17%しかなく、「あまり思わない」、「まったく思わない」の回答を合計すると73%に達している。

2学期制から3学期制に変わっても子供たちは不安や戸惑いを感じないと保護者は思っていると言える。



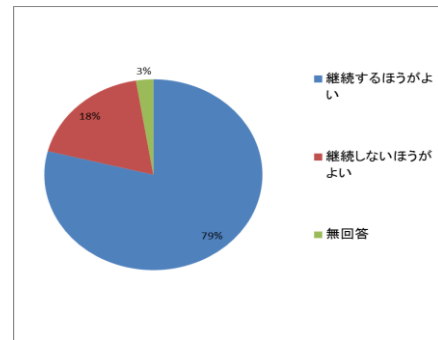
Ⅲ 学期制全般についての意見

(主な意見)

- ・ 3学期制から2学期制に変わり、子供は戸惑っている。授業時間が増えても途中の長期休業で学習意欲を継続させにくく、学習リズムが崩れる。
- ・ 2学期制は、テストの回数も少なく範囲も広すぎて広く浅い学習になっているように思います。テストの回数が少ない事で学習に対する意欲も少ないので、3学期制にも戻してもらいたいと思います。2学期制には、反対です。
- ・ 始業式や終業式といった行事がなくなることで、授業時間を増やしているし、その分、他の体験行事などに使えて有意義だと感じています。懇談会は、長期休暇の前に行っていただいでいて、これからの注意点や伸ばしていく所などを指摘してもらえ、休みの間や休み明けからの子供の目当ても持ちやすくなっていると思います。

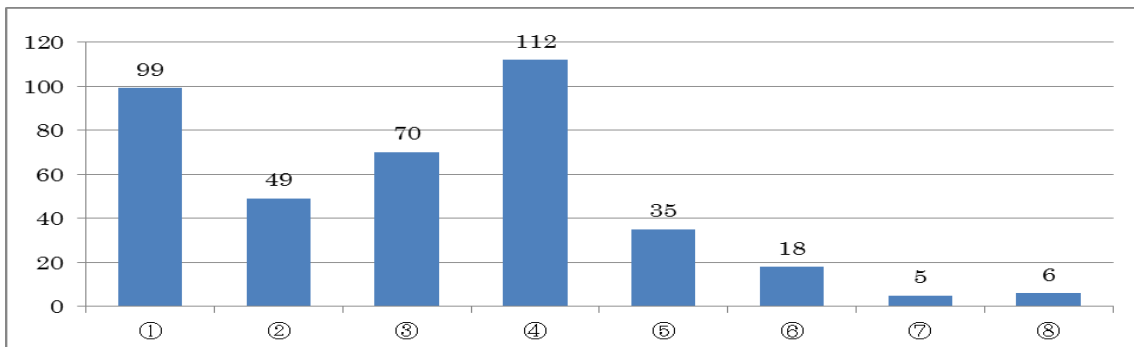
Ⅳ－9) 夏季休業期間の短縮（小学校は3日、中学校は7日）を、今後も継続するほうがよいと思いますか。

「継続するほうがよい」の回答が154件で全体の79%に対し、「継続しないほうがよい」の回答が36件の18%に留まっている。保護者は夏季休業期間の短縮の継続に肯定的であると言える。



Ⅳ－10) 9の設問で夏季休業期間の短縮を今後も継続するほうがよいと選択した理由を最大4つまで選んでください。

(単位：件)



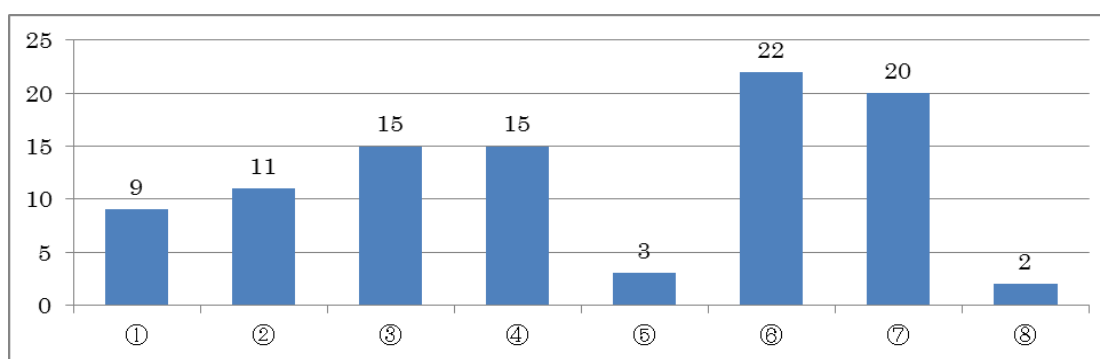
- ① 学力向上には授業日数が多いほうがよい。
- ② 特色ある教育活動にゆとりをもって取り組んでもらえる。
- ③ エアコンが導入され教育環境が充実している。
- ④ 児童生徒が規則正しい生活を送れる。
- ⑤ 休暇が長くなると子供に目が行き届かなくなる。
- ⑥ 夏季休業中の学習や読書などに取り組むのに影響がない。
- ⑦ 部活動の対外試合等の時間確保には影響がない。
- ⑧ その他

「児童生徒が規則正しい生活を送れるから」の選択が112件で最も多く、「学力向上には授業日数が多いほうがよいから」の選択が99件、「エアコンが導入され教育環境が充実しているから」の選択が70件となっており、この3理由だけで394件の選択の71%を占め、夏季休業期間の短縮を今後も継続する主な理由と言える。

(その他の理由)

- ・仕事をもつ親にとっては、長期の夏季休業は負担にしかない。
- ・夏季休業期間の短縮の条件として、警報などの急な休校があっても補足授業日を設けないとしている方が、授業の予定も休日の予定も立て易い。
- ・普段の生活に余裕が少しでも出るのであれば、短縮やむなしと思う。

IV-11) 9の設問で夏季休業期間の短縮を継続しないほうがよいと選択した理由を最大4つまで選んでください。 (単位：件)

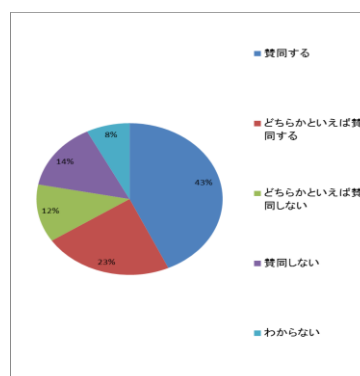


- ① 子供には長期の夏季休業が必要。
- ② 家族旅行などのプランが立てやすい。
- ③ 夏季休業中にしかできない特色ある学習や取り組みができる。
- ④ 夏季休業中の学習や読書などに時間をかけて取り組める。
- ⑤ 部活動の対外試合等の時間が確保される。
- ⑥ 区切りとして8月末までの夏季休業期間は適切である。
- ⑦ 登下校や体育などの授業で熱中症のリスクが高い。
- ⑧ その他

「その他」、「部活動の対外試合等の時間が確保されるから」の理由の選択以外は、ほぼ等しい件数で選択されており、「夏季休業期間の短縮を継続しないほうがよい」と感じている保護者は少ないが理由は共通していないと言える。

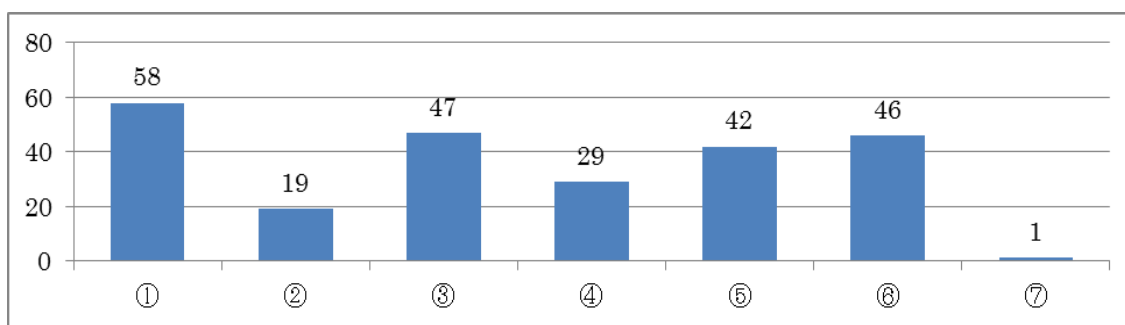
V-12) 小学校の夏季休業期間を、全ての小学校の普通教室と音楽教室にエアコンが整備される平成30年度から、中学校と同じ7月21日から8月24日までとする案に賛同しますか。(小学校の保護者のみ)

「賛同する」、「どちらかといえば賛同する」の合計回答が96件で全体の66%に対し、「賛同しない」、「どちらかといえば賛同しない」の合計回答が39件で26%に留まっている。教員とは反対に、保護者は夏季休業期間を中学校と同じとすることに賛同する意見が強いと言える。



V-13) 12 の設問で「賛同する」、「どちらかといえば賛同する」と選択した理由を最大3つまで選んでください。

(単位：件)



- ① 学習時間が増え学力の向上が期待できる。 ② 警報発令等で授業時数の減少リスクが少なくなる。
 ③ 余裕を持ってカリキュラムが遂行できると思う。④ 学校で先生や友達と触れ合う時間が増える。
 ⑤ 空調設備が整うことで学習環境がよくなる。 ⑥ 規則正しい生活習慣に早く戻せる。 ⑦ その他

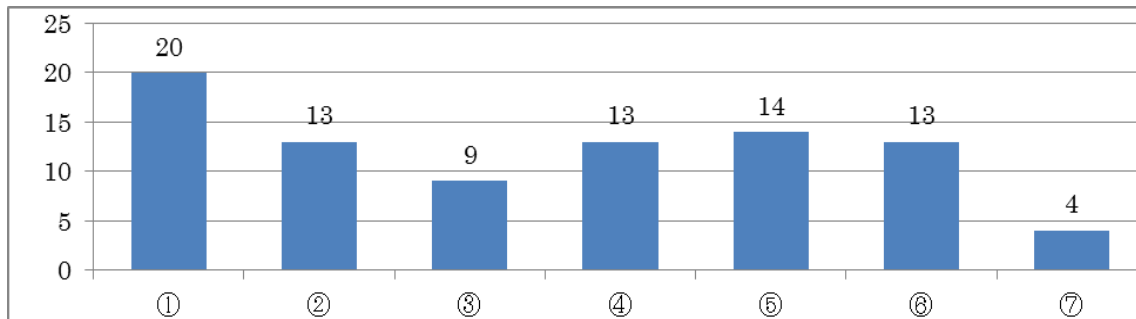
短縮の拡大を支持する理由として「学習時間の増加による学力向上」に期待を寄せている。また、「空調設備の整備」により学習環境がよくなることや「規則正しい生活習慣」に早く戻せることも高い割合であげている。

(その他の理由)

- ・長期休暇の間、子供を家庭で見ておくのは大変なため。

V-14) 12 の設問で「賛同しない」、「どちらかといえば賛同しない」と選択した理由を最大3つまで選んでください。

(単位：件)



- ① 短縮しなくても学習時間が十分確保されている。 ② 子供には長期の夏季休業が必要。
 ③ 学習時間が増え子供のストレスがたまる。④ 学力向上につながると思えない。
 ⑤ 子供が家庭や地域で過ごす時間が減る。⑥ 登下校や体育等の授業で熱中症のリスクが高い。⑦ その他

短縮の拡大に賛同しない最も多い理由は、「短縮をしなくても学習時間が確保されている」であり、「子供が家庭や地域で過ごす時間が減ること」や「登下校や体育等の授業での熱中症」を心配する保護者も多いと言える。

(その他の理由)

- ・他府県では土曜日に授業をしたり、朝の15分を授業に組み込んだりしていると聞きます。
- ・夏休みならではの行事参加、体験、そして夏休みの課題もとなると、短縮されたら、とても忙しくなるし、やりたいことに時間をゆっくりかけられないから。
- ・家の手伝いをしてくれたり、兄弟の面倒も見てくれたりと普段よりも余裕のある姿をみせてくれるので、そんな一日一日も大事だと思います。

★ その他、教育課程に関連した意見

- ・長期休業期間で区切る3学期制の方がわかりやすいと思います。
- ・3日程度の短縮については、賛同しますが、お盆を避けた家族旅行や地域行事への参加が困難になるので反対します。長期休暇の短縮より日頃の学習時間を充実させて欲しい。
- ・夏季休業期間については、短縮でも構わないと思うが、クラブ活動に週全体がとられているため、普段でも休みがあり、家族と過ごす時間が多ければ、短縮には賛成です。
- ・中学校の定期テストは、全学校2学期制なのに学校によっては、年4回と年5回の学校がある。テストの時期は、学校行事等の関係で多少の違いはあると思うが、回数は市内で統一されたい。
- ・夏季休業期間が短縮されたとしても、ゆとりを持って勉強に望める方が、ゆつくりと学習でき、子供達が理解しやすいと思う。
- ・こういう形で保護者にもアンケートをとっていただいて、ありがとうございます。